

事業評価報告書事前質問への回答

【質問1】

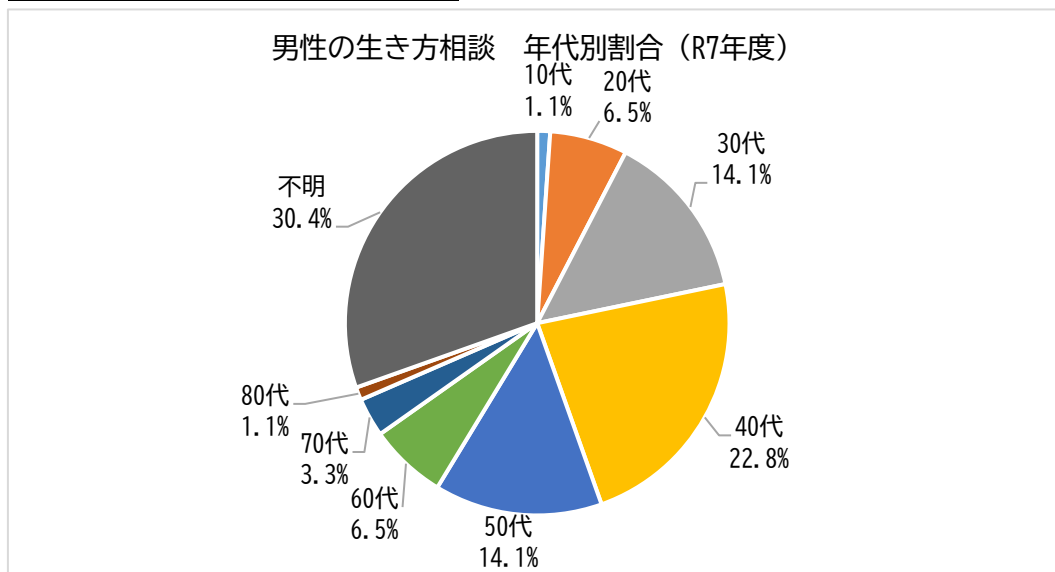
事業評価報告書 事業番号	96
担当課	地域子育て支援課
具体的な事業名	ファミリー・サポート・センター（育児）事業
委員からの質問内容	
利用申請件数、実績件数および、活動した協力会員数（重複は含めない）をお聞きしたい。 協力会員数のみで判断するのは、適切ではないと考える。	
回答	
利用申請件数、実績件数及び活動した協力会員数(重複を除く)については以下のとおりです。 【活動件数実績】11,874件 【活動した協力会員数(重複を除く)】131人 ※本事業では、一度援助活動の調整が成立した会員同士が、直接相談の上で相互援助活動を行う仕組みであるため、正確な利用申請件数は把握しておりません。 ご指摘のとおり、現在の「協力会員数」のみの目標設定では、実際の稼働状況を十分に捉えきれていない面があると認識しております。 そのため、次期計画において、新たな指標として活動件数などのより具体的な数値が設定できるか検討を進めてまいります。	

【質問2】

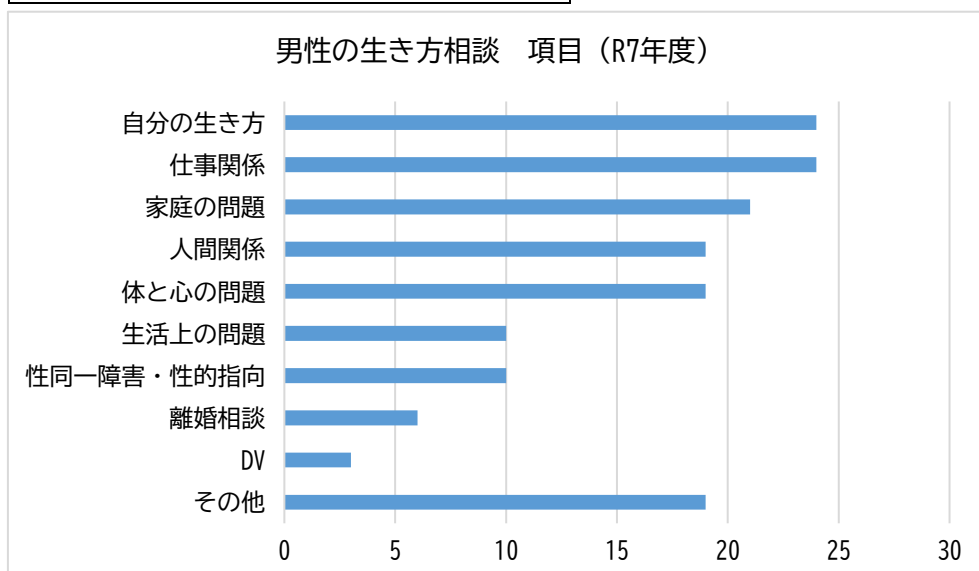
事業評価報告書 事業番号	129
担当課	市民協働課
具体的な事業名	男性の生き方相談事業
委員からの質問内容	
年齢層、内容の大まかな内訳、および対応が電話のみというのは何か理由があるのかをお聞きしたい。	
回答	

令和7年度の男性の生き方相談実績

年齢層について（令和7年度実績）



内容の主な内訳について（令和7年度実績）



電話相談のみの理由について

男性の生き方相談事業においては、名前や顔を知られずに、プライベートな悩み（自分の生き方、仕事関係、家庭問題、人間関係、性の悩みなど）の相談について、相談者が気軽に相談できる方法と考え、電話対応としております。

相談者の表情や様子を含めた深いカウンセリングや継続的なサポートが必要とカウンセラーが判断した場合や相談者が希望した場合においては、ステップアップとして面談相談が可能な他機関（例：千葉県男性のための総合相談窓口）をご案内するようにしております。